

月の舟通信

2016年3月 No.53

五三、柔らかな心

梅の花が満開のあとは、山桜の季節。四季のある日本の風景は素晴らしいですね。

「月の舟」の新しい講座、老舗クラスともに、順調に刺激的な講座が続いています。いつもながら会員の皆様方のご協力に深く感謝いたします。

二月三月の「月の舟」は大きなイベントが目白押し。二月七日の島村輝先生による「蟹工船」から三月十三日に予定の「みんなの夏目漱石く夢十夜く」まで、楽しく充実した講座が続きます。

なかでも、年に一度、まるで彗星のように「月の舟」でご講演いただいています佐々木幹郎先生のお話はぜひお聴きください。東京芸大で非常勤講師をされていたときの講座内容と同じ、ことばの音楽性、詩のリズムについて、詩人・萩原朔太郎を基点にお話くださいます。音楽関係の方、朗読をされ

きみことワインを 2016

る方、詩人、小説家の皆様、もちろんことばを大切にされる「月の舟」の受講生の皆様、奮ってご参加ください。なのはなクラスで詩や短歌を学んでいる最中ですから、学びをもう一步深める絶好のチャンスです。三月六日(日)午後二時～四時。ちようど鹿児島マラソンの日で天文館は賑やか予報発令中。応援がてらおいでください。

さて、変化の激しいこの時代、何よりも「柔らかな心」が大切です。柔らかな心で、目に見えない変化をしっかりと見極め、冷静な視点で自分がどう対処したらいいかを判断する。古い価値観を引きずったままだと、こころが硬くなり、変化についていけません。古い価値観とは、お金、権力でものごとを測り、競争意識に満ちた生き方。

新しい価値観とは、調和・受容・分かち合い。自分は何をしたいか、

何ができるかと自問するなかで、ふっと調和する安定ポイントがわかるはず。人とは違う自分、弱い未熟な自分を受け入れる。自己犠牲ではなく、仲間たちと愛と笑いを分かち合う。

この「調和・受容・分かち合い」の姿勢は、文学の分野が得意とするところ。これから「月の舟」は新しい価値観をリードする大切な場となります。理事長も学長も本気で「月の舟」を運営しますよ。春爛漫の四月から新体制で臨みます。自主講座がいくつか誕生して、システムは若干変わりますが、これまで通り、「月の舟」の多様な講座を愉しんでください。

成長とは変化である。変化のないところに成長はありません。深い学識と優しさに満ち溢れた講師の先生方、勤勉で明るい「月の舟」会員の皆様とともに、柔らかな心で、つねに工夫をして、「月の舟」全体で成長していきたいと思

います。(みたけきみこ)